

■ はじめに

現在進められている新庁舎・新図書館の建設、その後に着手する公園整備、子ども家庭支援センター改修などにより、この新庁舎周辺は、一つの中心的総合的な拠点としての役割を担うこととなります。その中に位置する総合会館は、それ自身が市民に親しまれ多くの方に利用していただける施設となるのはもちろんのこと、構内のそれぞれの施設とつながり、相乗効果をもたせる役割も期待されます。

また、昨今の情勢では、AI・ICTなどの発展やコロナ禍への対応など、社会が大きく変化し生き方や働き方について「個人の多様性」が尊重される一方、希薄になりつつある人間関係において「つながる」ことが重要視されるなかで、今までとは違った価値観や市民ニーズに対応する必要があります。

善通寺市はこれまで、「子育て・教育」を重視して施策を進めてきましたが、この総合会館の改修にあたっては、様々な「学びの場」としての機能を整え、子どもから高齢者まで幅広い市民に利用いただき、そこでの出会いや世代をこえた「交流」が、新たな賑わいを生み出すよう意識した整備を進めます。

■ 基本コンセプト

～ ひと・まち・歴史をつなぐ 新たな学び・交流の場 ～

- 子どもから高齢者まで幅広い市民にそれぞれの「学びの場」を創出します。
- 多様な人々が集まり、新しい気づきが生まれる「交流の場」を創出します。

■ 備えるべき機能

- 拠点性  
多様な人や企業を惹きつけ、交流を促す拠点機能
- 利便性・快適性  
市民が憩い、やすらぎ、楽しみを体感できる空間創出
- 価値創造性  
多様な主体の交流により、新しい活動や取組などの価値を生み出す場

■ 施設の現況

- 竣工時期 昭和60年5月
- 延床面積 5,043.395㎡（社会福祉センターを含む）
- 構造 鉄筋コンクリート造5階建

■ 事業スケジュール

年度	令和2年度			令和3年度								令和4年度													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
工程																									

■ ゾーニング計画

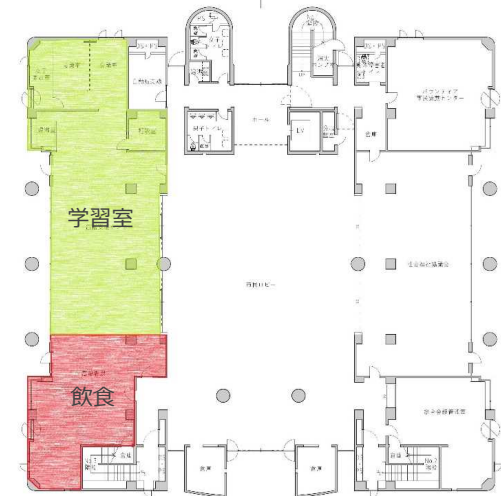
○ 1階 ～集中して学ぶ～

【学習室】

- ・主に学生を対象とした自主学習ができるスペース
- ・集中して勉強できるよう1人席などを設置

【飲食】

- ・総合会館に訪れる「きっかけ」となるようなコーヒー等を提供
- ・学生向けの手軽な金額を想定
- ・持参のお弁当などが食べられるスペースも整備



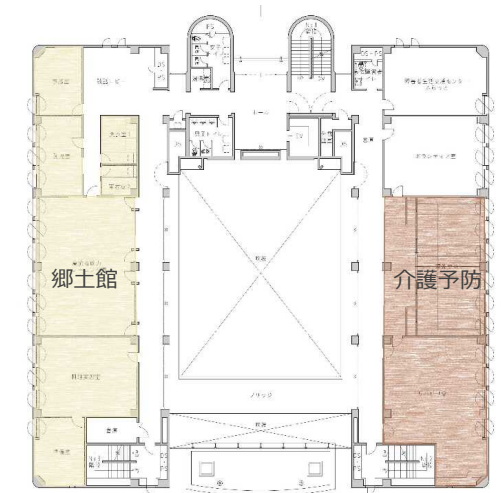
○ 2階 ～歴史を学ぶ～

【郷土館】

- ・老朽化している赤門筋の郷土館を移設整備
- ・考古資料と民族資料を常設展示し、善通寺市の歴史に触れられる場を提供

【介護予防】

- ・現在、2階南側に設置している介護予防の筋力トレーニング器具を移設
- ・社会福祉協議会との共同利用を予定

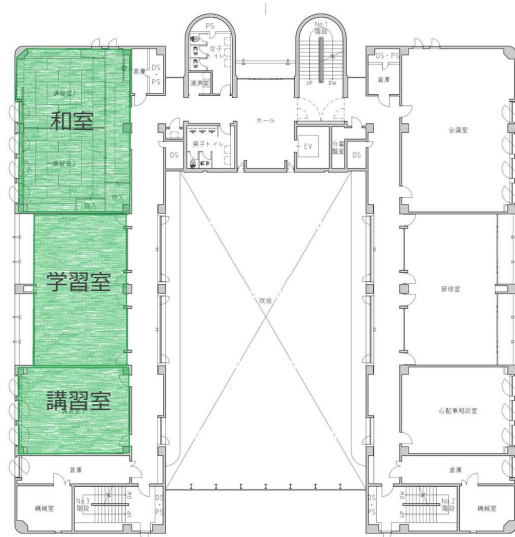


■ ゾーニング計画（続き）

○ 3階 ～生涯学ぶ～

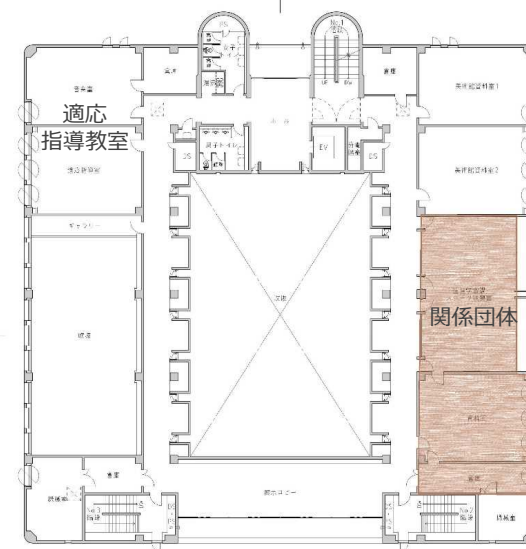
【和室・学習室・講習室】

- ・これまでどおり様々な市民活動に利用
- ・大きな用途変更はせず、畳や襖などの必要な改修を実施



○ 5階 ～関係団体エリア～

- ・現在4階にある仲善教育会などの関係団体が利用
- ・大幅な改修や用途変更はなし
- ・適応指導教室を2室に増室し、学習活動を支援



○ 4階 ～ICTで学ぶ～

【会議室（Web・サテライト）】

- ・Web会議などが行えるようICT環境を整備
- ・将来的な企業や大学・専門学校等との連携を想定したサテライト機能

【多目的室】

- ・高校などの学習成果の発表や講演会など、多目的に利用できるスペース
- ・子ども向けのプログラミング教室や高齢者向けのタブレット教室なども実施

【交流スペース】

- ・多様な世代の市民が交流できるコワーキングスペース
- ・誰でも気軽にテレワークや勉強ができるよう設備環境を整備

